

福祉NPO  
グループ

み

ずほ

<発行> 福祉NPO グループみずほ 理事長：白井 英子

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-3-11ハイツみずほ台104号

電話：049-268-5333 FAX：049-268-5366

介護保険指定居宅介護支援事業所  
介護保険指定訪問介護サービス事業所  
介護保険指定介護予防訪問介護サービス事業所  
住民参加型在宅福祉サービス団体

障害福祉サービス指定居宅介護事業所  
障害者地域生活支援事業・移動支援事業登録団体  
富士見市障害児・者生活サポート事業登録団体  
三芳町心身障害者サポート事業登録団体

利用者様からの投稿



## 私の生い立ち

N. M子



本郷湯島天神のそばで生まれました。  
三才の時関東大震災に会いました。

七才まで家を大森へ引越しまして小学校四年生で荒川区の尾久と言ふ処へ又引っ越しました。  
小学校六年から女学校へ入れませんでした。高等小学二年に卒業しました。

台東区向島と言ふ処へ越しまして、そこから神田精文堂と言ふ本屋さんへつとめました。その時二月、二、二六事件に会いました。又豊島区椎名町と言ふ処へ越しまして、そこで昭和の大戦争になり、私が二十四才の時主人康治と見合結婚しました。戦争さなかで大変でした。

子供が居なかったので国防婦人会が出来て班長になり、戦争がだんだんひどくなり焼夷弾がおちて水入りバケツで消しに行きました。間もなく戦争が終わり、主人の会社(中国電力東京支社)が八重洲口に鉄鋼ビルの五階に行くことになって、親類の台東区根岸と言ふ処へ越しまして戦争で皆な配給で野菜もお米も二人ですからほんの少し、そこで長女が生まれました。そこから、豊島区駒込へ越しました。そこで私は知人に誘われて東大研究所につとめました。そこで長男が生まれました。二十年つとめて大学はやめました。

田舎にあこがれて鶴瀬にきました。今の家をローンで買いまして、四十年住んでいます。主人が七年前亡くなりました。

これが私の歩んで来た道です。



N様はご主人様の時からご利用頂いています。90歳を過ぎてからも、お元気にお過ごしになられていることは私たちの励みです。どうぞいつまでもよろしくお願ひ致します。

## 排泄介助研修

H26年10月18日

排尿体験を通して、利用者の気持ちに寄り添おう！  
目指せ…オムツ交換のレベルアップ！



### ★排尿体験レポート1. (Y. H)

排尿体験2度目に付き、装着した時のブルな気持ちはなかった。紙パンツ、パッドを装着して動いてみた。パッドが1枚だったが、かなり股がゴアつき、股を少し開き気味に歩かないと圧迫され、痛かった。パンツのみで動いてみた。断然動きやすく、装着感はまあまあだった。

紙パンツ、パッドを装着して寝たが、違和感があり、なかなか寝付けず、暑かった。ただ装着して寝ているだけであったが、不快であった。パッドをつけて布団の中で排尿をしようと思ったが、なかなかできず、トイレ以外で排尿することがこんなに大変と再確認できた。紙パンツに尿が溜まっている感じがわかり、パッドの吸収の悪さから漏れが大量にあり、不快であった。

ロールプレイをして、着脱時に脱せ方によっては、背中や首が痛いことを感じ、利用者に苦痛のない着脱を心がけたいと思った。オムツをつける利用者の皆さんには人間としての尊厳と心のケアを上手にできるようにしていきたいと思った。

### ★排尿体験レポート2. (T. Y)

紙パンツやパッド装着が日常になった場合、色々な行動に不安が出るように思います。はたして引け目の無い生活ができるのか私自身分かりません。

1度だけの排尿で早く取り替えたい思いがします。ヘルパーや誰かの援助が必要な人は絶えず忍耐を強いられていることを忘れずに接したいと思います。

## 食事介助・口腔ケア研修

H27年2月21日

口腔ケアの重要性の再認識と

食事介助実践によるスキルアップ！

最新介護食（ユニバーサルデザインフード）の試食



### ★DVDによる口腔ケアの重要点の確認

姿勢、誤嚥の予防、摂取法のタイミングを学ぶ。食事を自分の口から楽しく食べることは健康維持、向上に大切なことである。口腔ケアは口腔疾患の予防、全身の健康維持、向上に役立つことを学ぶ。

### ★食事介助の実践

2人一組になり、お互い介助しあうことで、食事の量、スプーンの運び方、介助しやすい位置などを体験し、これからの食事介助に活かす。

### ★最新介護食（ユニバーサルデザインフード）の試食

### ★研修体験後の感想

- ・ 食べることは生きることにつながる、「楽しい」部分も大きいことなので質の高い介助が出来る様になりたいと思った。
- ・ 食生活は人それぞれ違うので、介助者の価値観、生活暦を押し付けないことが大切だという事を忘れずに、声掛けをしていきたいと思った。実践によって利用者の立場になり、口の中で歯茎のポケットに物が溜まってしまいう体験ができた。
- ・ トロミの分量を間違えると風味などが変化して、お茶などは味がなくなりおいしくなかった。利用者の方のQOL、能力を活かした生活、身体的な向上の提案ができるのか…介護者の自己満足にならないようなケア、大変難しいことである。最新介護食は健康な人には重いと感じた。

## 新人紹介

I. 隆 (H27年1月入社)

① 出身地：埼玉県所沢 (父：熊本 母：秋田)

② 趣味は…広く、浅く、テーブルゲームからスキー、スノーボード、野球、バスケット

③ 仕事上のモットー：自分がされて嬉しい対応、介護をモットーに！ 父の介護がおちついたので、オファー？を受けてこちらに…多少おっちょこちょいですが、長一い目で宜しくお願いします。



# 富士見市介護職員初任者研修が終了して

訪問介護管理者 佐藤

平成26年11月11日より平成27年2月19日まで全26回にわたり、富士見市介護職員初任者研修が実施されました。受講後市内の事業所にて勤務する意思があるかどうかを、面接にて確認をとり受講ができるものでした。当事業所も12月に生活と家事の講義・演習を担当し、2月に2日間見学・実習を受け入れました。私共が講義・実習を受け入れる理由は、自分自身やヘルパーさんたちのスキルアップ、そして、訪問介護への理解、介護職へ就職です。もちろん訪問介護につながれば、一番うれしいと思います。見学・実習では、ご利用者様にご協力いただき無事終了できました。深く感謝しております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、終了後1ヶ月がすぎましたが、現時点で何名の就職が決まり、何名が就職活動をしているのでしょうか？どこの事業所も人手不足は深刻です。市内のどこかの事業所で頑張っている姿とお会い出来る日がくることを祈っております。「福祉NPOグループみずほ」と赤い糸でつながっている方がいたら尚うれしいですが……。



## 介護職員初任者研修アンケートより

- \* 訪問介護のイメージが少し変わりました。「一人だけドチーム」だとの言葉、心強く感じました。今までは訪問のイメージは“してあげる”支援だと思っていましたが、“共に行なう”という考え方！なんですね。
- \* 家事援助もその家族家庭でのやり方が多様だという事がわかりました。又、その家族、その方に合わせた支援が必要なんですネ…生活のやり方、リズム、そのままの生活ができる大切さがわかりました。実習では実際にやってみて、利用者の気持ちや意志を汲み取りながら聞き取ることの大変さがわかりました。どんな時も相手の立場にたったの支援が出来る様になりたいです。
- \* 訪問ではどうしても生活スキル全般がこなせて当然というイメージができていましたが、現場で学んでいく、研修で助けてくれるチームがあることも教えていただきました。職場を探す上で、研修やフォローをしてくれる職場を探すことが大事ということも教えていただきました。今後の職場探しの教訓にしたいと思います。

## 平成26年度11月実施

### 居宅介護支援利用者アンケート調査結果報告



#### \* 居宅介護支援利用者アンケート結果（回収率71.1%）

1. 現在のサービス利用について  
①満足 46      ②普通 16      ③不満 0      ・無記入 2
2. ケアマネジャー訪問対応について（情報提供など）  
①満足 51      ②普通 12      ③不満 0
3. 事務所の電話対応について  
①満足 34      ②普通 29      ③不満 0
4. サービスの変更・苦情等の対応について  
①満足 39      ②普通 24      ③不満 0
5. 気になっていること等、気軽に相談が出来ますか  
①満足 62      ②出来ていない 0      ③どちらともいえない 1



前回のアンケート結果から、今年度は情報の提供を優先課題として対応しました。その結果、成果が見られ利用者の満足度が高まりました。又、今回も沢山のご意見を頂きましたので、今まで以上に各事業所との連携を図り、親身なケア相談に乗り、必要なサービスが提供できるように連絡・調整をしていきます。利用者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力に頂きありがとうございました。



# “Cafe みずほ” ちょこっとおしゃべり

## カフェみずほの再開 E.M

水子貝塚公園近隣の民家をお借りしてのカフェでしたが、昨年十月で一旦店仕舞しました。その直後からたくさんの方々より「いつ再開するの？」とのご要望を戴きました。しかし場所の確保ができず、う～んう～んこれではいけない、まずは集会所をお借りしてでも再開しよう！と今年1月よりみずほ台コミセン、鶴瀬西の名シ久保集会所で月1回ですがオープンすることになりました。



駅から近いこともあり、わざわざ電車に乗って来てくださる方もいらして嬉しい限りです。折り紙を折ったり、他愛無いおしゃべりをしたり、心の中の溜まっているものを少し言葉にすることで、入っていらした時より明るい顔でお帰りになった様子を見ると「再開成功…」と自画自賛してまいります。

今後は継続して出来る場所確保が課題ですが、まずは開店しながらお客様をお待ちしています。

“Cafe みずほ” オープン予定：3月29日、4月19日、5月10日、各日曜日 11:00～16:00  
鶴瀬西名シ久保集会所（鶴瀬駅西口「はちや」さん後ろ）

おいしいケーキとコーヒーを用意して、お待ちしております！（お席料：300円）



## 寄付金御礼

保田様、大橋様、他1名の方よりご支援を賜りました。有難うございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 活動状況(2014年7月～2014年12月)

	居宅介護支援						介護予防業務委託					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	83	81	83	81	82	83	9	9	6	8	9	9

	助け合い・有償移送						訪問介護						介護予防訪問介護					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用人数(人)	10	7	10	8	9	5	41	40	45	43	41	41	16	16	14	14	15	15
時間(H)	25.5	20.5	19.5	24.5	22.0	15.8	440.1	395.3	405.8	419.5	374.5	368.5	100.1	89.0	74.0	76.3	66.5	70.0

	障害福祉サービス						移動支援						障害児(者)生活サポート					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用人数(人)	13	11	11	9	9	10	1	1	1	0	1	0	10	8	8	6	6	7
時間(H)	146.3	134.0	114.5	134.5	117.5	115.5	1.0	1.5	0.5	0.0	1.0	0.0	42.0	24.0	42.5	44.5	34.0	38.0

## 〈編集後記〉

今年埼玉は、ありがたいことに大雪も無く春を迎えました。例年より花粉の量が多く飛んでいて、利用者宅へ訪問する際には、メガネとマスクで防備しています。早咲きの桜や沈丁花の花も咲き出しました。つかの間の花の香を楽しみつつ、利用者さんに会いに自転車を漕ぐ毎日です。

3年毎の介護保険制度見直しの春がまたやってきました。利用者の皆様にはわかりやすく、的確に情報をお伝えしていきたいと思っています。

何かご心配事がありましたら、遠慮なく御相談ください。（副理事長 ケアマネ 白石）

